

いじめっ娘倶楽部のSPH文庫  
SPH・小さなチンポを笑った体験談  
従姉妹たちとの混浴温泉旅行編

皆さんこんにちは。

いじめっ娘倶楽部の綾瀬南です。

きょうは私の『SPH・小さなチンポを笑った体験談』...、ということなので...ww(クッ)、ちょっと前に仲のいい従姉妹や叔母さんで行った混浴温泉のお話をしたいと思いますね！

これはね...、今からちょうど半年くらい前の事なんだけど...、親戚同士で温泉旅行に行く事になってね？

メンバーは私の叔母に当たる遥さん。

この人は母方の一番下の叔母で歳は30歳だから、どちらかと言うと私たち従姉みんなのお姉さんって感じ？

仕事が看護師だからってのもあるのかな？  
昔から子どもの世話が上手だったみたい  
で...、わたしたちもみんな小さい頃から世話  
になってて、『ハル姉ちゃん』って呼んでる  
の。

で、それ以外のメンバーは...  
私より4歳上で22歳の従姉の葵姉ちゃん。  
その妹で、私と同年の茜。  
そして4つ年下の従妹の桜。  
この女5人ともう1人...。  
唯一の男子で同年の従兄弟の智君。  
この6人での温泉1泊旅行。  
同年の私と茜と智君の大学合格祝兼卒業旅  
行ってことだね。

本当は私の22歳のお兄ちゃんの前とあと中1  
の弟の卓...それと茜たちの兄弟で20歳の純君  
も誘ったんだけど、お兄ちゃんたちは2人と  
も大学の倶楽部やバイトの都合で...、弟は風  
邪ひいちゃって来れなくなったのよね。  
だから男子はこの智君一人だけ...。

その日予約していた宿白慢の豪華な露天風呂も1人ぼっちになっちゃうのよね～。

せっかくの温泉旅行なのになんだか可哀想...とか思ってたのよね。

ところが...

その宿はハル姉ちゃんの友達が女将さんをしているらしくて、すごく落ち着いた雰囲気の小さな宿なんだけどね...でも...なんと(笑)！

そこの露天風呂って...『混浴』だったの！  
私たちも最初はびっくりしたのよね。

「ちょ...！ちょっと！ハル姉ちゃん！ここって混浴なの!？」

「えっ！やだっ！混浴!？」

ところがハル姉ちゃんは落ち着いた様子で  
キャーキャー騒いでる私達をなだめるの。

「大丈夫よ～(笑)！

混浴って言ってもね、女性はバスタオル着けたままでの入浴OKだし、それにね？

ここのオーナーは私の友達だからさ、予め予約状況聞いて、他の男性客の予約が入っていない日に部屋とってもらったのよ。

1日数組だけの予約制で、露天風呂は宿泊客専用だから今日は私達以外は、女子大生やOLや女子会みたいな女性グループだけなのよ。」

「な～んだ(笑)！  
それなら安心だね～。」

「だよね～(笑)！  
じゃあ早速行ってみようよ！  
露天風呂！」

私や茜がはそんな風に一安心していたんだけど、その時葵姉ちゃんが...

「えっ？でもそれだと智君だけ露天風呂入れ

ないじゃないの。

1人だけ部屋風呂とか...かわいそうよ。」

「あ...、確かに...。

ここ...大浴場って露天風呂だけなんだよね？」

私その部屋の風呂を覗いてみたんだけど、本当何の変哲もないユニットバス...。

「ええ〜？これじゃ智兄ちゃんだけ可哀想だよ〜！」

一番年下の桜も同情ぎみ...。

そんな風に私達女子組が唯一の男子の智君のことを気遣っていたんだけど、当の本人はと言えば...。

「えっ...と、その、僕は別に部屋風呂でいいよ。別にそこまで温泉とか...。」

彼は元々温泉にはそこまで興味は無く、単にせっかくのみんなでの合格祝いだし？  
久しぶりに仲良しの従兄弟...と会えるから参加しただけって感じ...。

と言っても、他の男子たちは欠席になっちゃったんだけどね。

でもまあ、本人からしたらそういうわけで温泉には大して執着ないみたい。

ところがそれを聞いたハル姉ちゃんがね...？

「えっ？何言ってるのよ？  
智君？

あなたも一緒に入るのよ？  
露天風呂。」

それを聞いて本人は勿論なんだけど、私たちもびっくり。

だって...、

私や智君ってもう高3なんだよ(笑)？

いくら従姉同士だからって...

でもそんな私たちの戸惑いなんてお構い無しのハル姉ちゃん。

「ほら(笑)？」

昔はよくみんなでうちの実家の大きなお風呂一緒に入ったじゃない(笑)！」

確かにそうなんだよね。

昔、夏休みとか田舎に集まった時は実家住まいのハル姉ちゃんが私達子供の世話係で、男の子も女の子もまとめてみんなお風呂に入れてもらってたね？

だからそれが普通っていうか...？

私達って結構おっきくなるまでは一緒にお風呂入ってたんだよね。

私や茜...智君が小学5~6年になるぐらいまで？

ハル姉ちゃんは当時23~24？

葵姉ちゃんの中3か高1ぐらい。

お兄ちゃんは私や茜よりは4つ年上だから、  
当時はもう高校生なんで...、  
流石にハル姉ちゃんや同じ年の葵姉ちゃんも  
いるから一緒に入らなかったみたいだけど、  
小学生1年生のうちの弟や、私と同じ年の智  
君は一緒に入ってたの。  
私もその当時は別にそんなに気にしてなかった  
のよね。

でも(笑)？

まさか今この歳で？

私も茜も...智君も、もう高3だし、桜だって  
中2なのに(笑)！

いくら従兄弟って言ってもそれは(笑)

ねえ(笑)？

ところがね？

それを聞いた葵姉ちゃんが...。

「あ～(笑)！

そう言えばそうだったよね～www！

懐かしいね～(笑)。」

「でしょ？今は実家も建て直してお風呂も今の普通の小さいのになっちゃったからさあ？

久しぶりにみんなと一緒に入るのもいいかなあってね？」

「そうね(笑)。たまにはいいかもね(笑)！ねえ？茜。」

葵姉ちゃんもそんなこと言い出してね、そしたら茜も....。

「そうよね。なんか懐かしいしいいかもね(笑)。

私は別にいいけどね。

桜は？」

「えっ？私別に全然気にしないよ？

南ちゃんは？」

って、私、急にそんな風にふられてちょっとこまっちゃった(笑)

でも正直なことを言うと、実は私もそこまで抵抗は無かったのよね。

だって、女性はバスタオルOKなんだし。  
それに相手は智君だけなんだしね...ww(クッス)

と言うか...

その時私、ちょっと昔のあの出来事思い出しちゃったのよね...www(クスクス)。

あっ...、このエピソードは皆さんには先に話さなくっちゃね！

えっとですね....。